

◇公害総行動「旗びらき」	2018年1月12日（金）18：00プラザエフ
◆ミナマタ東京訴訟	1月17日（水）13：30東京地裁
◇福島原発「総決起集会」	1月27日（土）13：00文京区民センター
◆東京公害患者と家族の会総会	2月25日（日）13：30全林野会館604

## 発言紹介

### ★ 国会議員要請・首都圏の動き

患者会の国会対策委員会を開き、与党（自民・公明党）の中心的な議員にさまざまなパイプから粘強い働きかけをおこなう相談をした。12月20日には自民党都議団（宇田川都議ら）と懇談の機会があるが、国会議員のパイプづくりを話し合いたい。埼玉県議会意見書採択を千葉にも広げるため原発千葉弁護団の協力を得て公明党県議議と相談。自民党県議団との接点ができる見通し。川崎患者会が横浜市議会への働きかけを着々とすすめている。また1月18日に千葉で新患者会結成が予定され、埼玉でも医療生協と話し合い、アンケート協力者によびかけ3月頃に患者の学習・懇談を企画することになった。

＜石川牧子発言＞

### ★ 噛み合い始めた環境省「勉強会」

環境省森本事務次官のもと新しい環境保健部・中尾企画管理課長と「勉強会」をもち、SORAプロジェクトのおさらいをおこなった

「海外の知見（論文）は興味深い」「大気汚染が改善方向ながらぜん息患者が増えている事実、都条例患者の多くが1990年代に発症していることも認識していた」と発言。かなり噛み合ってきた。救済制度の政策設計の知恵を出し合う原点に戻したい。

＜西村弁護士発言＞

## クルマから自転車へ！ 発言紹介

### ★ 43区市を訪問し要請

「あおぞら」11月号で紹介した自転車ネットワークづくりの運動はその後も連日のように区市を訪れ、要請は43区市に達した。自転車活用推進法が制定され、国は来年8月までに「自転車ネットワーク計画」を策定する方針を決めた。計画があるかないか一目瞭然で判る「マップ」を作成し、荒川区・狛江市等の交渉をおこない詰めている。文京では患者会支部・連絡会の区議会請願が採択された。

＜大越稔秋発言＞

### ★ 道路連絡会「準備会」

準備会（11月28日）のまとめと次回連絡会（2月14日）の焦点について説明。①来年夏の「自転車ネットワーク計画策定」の方針決定が注目される。②PN規制は専門委員会で検討開始。2～3年後答申ではなく「早期実施」を求める。③PM2.5測定は◇八潮団地測定箇所移動◇上馬測定休止の問題。④大型トラック規制では松原橋の回避誘導を継続する。

＜原弁護士発言＞

## 吉川理事長から寄せられた記事紹介

### 葛飾青空の会第15回総会開く

葛飾青空の会は、11月25日15回総会を開き一年間の活動のまとめと方針、会計報告、役員改選などを行いました。総会には原弁護士による救済制度とPN規制、電気自動車のはなし、大越氏は一年間の活動をパーポイントで報告、吉川が東京あおぞら連絡会のとりくみをのべ、会員によるオカリナ演奏もあり、中身の濃い総会となりました。12月予定の柴又駅等宣伝・署名活動は、足立支部にも呼び掛け12月15日（金）16時から亀有駅で行うこととなりました。毎年総会を開き、個人会費を集め、総行動にはバスで参加するなど、地道なとりくみに頭が下がります。

### 文京区議会「自転車ネットワーク推進計画」策定の請願採択！

患者会文京支部と文京あおぞら連絡会は、自転車利用推進を促すことを求める請願を区議会に提出し、12月4日建設委員会で4；2で可決、12月7日本会議で賛成多数で採択されました。これは4月の要請（交渉）で、区側がバリアフリー構想で走行空間の連続性を確保するので個別計画はつくらないと、文書回答したことにより、請願をして推進を早めようとしたものです。請願者向田氏を先頭に松井・足立・山田氏らが区議会各会派回りや懇談をし、委員会・本会議傍聴をしたことが採択に影響を与えたと思います。近年、自転車シェア・サイクルポスト・駐輪場・走行空間確保など自転車利用の課題が注目されます。

吉川方章